

朧月夜

菜の花畑に 入日薄れ

見わたす山の端 霞ふかし

春風そよ吹く 空を見れば

夕月かかりて 匂い淡し



里わの火影も 森の色も

田中の小径を たどる人も

蛙の鳴くねも 鐘の音も

さながら霞める 朧月夜

砂山

海は荒海(あらうみ)、向こうは佐渡(さど)よ

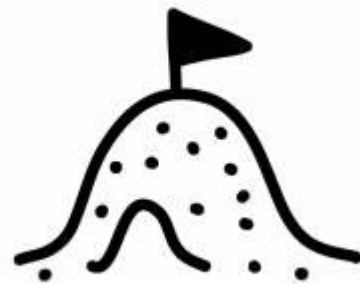
すずめなけなけ、もう日は暮れた

みんな呼べ呼べ、お星さま出たぞ

暮れりゃ砂山、汐鳴(しおなり)ばかり

すずめちりぢり、また風荒れる

みんなちりぢり、もう誰も見えぬ



♪恋の季節

□ピンキーとキラーズ

♪

忘れられないの あの人が好きよ
青いシャツ着てさ 海を見てたわ
私は はだして 小さな貝の舟
浮かべて泣いたの わけもないのに



恋は私の恋は 空を染めて燃えたよ
死ぬまで私を ひとりにしないと
あの人が言った 恋の季節よ

♪(間奏)

(ルルル……

待ちぼうけ

待ちぼうけ、待ちぼうけ ある日せつせと、野良稼ぎ

そこに兔がとんで出て ころりころげた 木の根っこ

.

待ちぼうけ、待ちぼうけ しめた。これから寝て待とうか

待てば獲物が駆けてくる 兔ぶつかれ、木のねっこ

